

令和8年度事業計画書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

1. 滋賀のスポーツを応援する助成基金の運営

助成基金「レイクス・スポーツファンド」による助成

滋賀県出身あるいは滋賀県を拠点にスポーツに取り組む個人、団体、大会主催者に、その活動に対して助成をする。

助成目的：レイクスターズ・スポーツファンドは、滋賀県内のスポーツ振興を目的に、県内に在住もしくは活動拠点を置く個人及び団体のスポーツ活動に助成する

助成概要：広くスポーツに関連する活動（振興・普及活動含む）や、個人、団体、大会

助成対象：全20～25の個人、団体

応募資格：滋賀県に在住もしくは活動拠点を置く個人、団体、大会主催者

※助成金額、件数は申請書類に基づき26年2月実施の審査委員会で審議・決定）

助成期間：令和8年4月～令和9年3月 ※左記期間中に行われる活動を対象とする

助成原資：個人、法人などからの寄付

2. スポーツに関する情報の収集及び提供

滋賀県のスポーツ情報を無料情報誌 “レイクスターズ・マガジン” として隔月発行し、滋賀県内にて配布することで滋賀県のスポーツ情報を広く県民に提供する。

本情報誌が県民に広く行き届くように、行政庁、学校、公共図書館、郵便局などにおいて無料で設置、配布する。また、スポーツ情報の収集に際しては、公益財団法人滋賀県スポーツ協会や滋賀県及び各市町教育委員会と連携を図る。

なお、特に青少年育成を目的に、小学生から大学生までの各世代の情報を毎号掲載する。

<発行実績>

・2011年10月創刊（2026年3月現在第149号発行）

・毎号 12,500部発行 20ページ

・約200箇所のラック（行政庁、公共図書館、体育施設など）及び約380校の学校設置、配布

<令和8年度発行計画>

・年間6号 隔月（偶数月）発行

3. スポーツボランティア登録・派遣活動の推進（～令和8年9月末）

しがスポーツボランティア協議会（会長：滋賀県文化スポーツ部長）の事業である

スポーツボランティアの登録、普及、育成、活動参加推進事業

“ゲーム・コンダクターSHIGA”の事務局として運営を実施する。

但し、令和8年9月中にゲームコンダクターSHIGAの運用を停止し、県の新システムに移行させる。

令和8年9月30日をもってスポーツボランティア協議会は解散の予定。

<令和7年度実施実績>

- ・2019年度より実施、2025年（令和7年度）で7年の運営実績。
- ・登録者 約6,230名、派遣イベント数実績84イベント、派遣ボランティア年間のべ約2,350名
- ・研修会 5回実施

<令和8年度実施計画>

- ・県内におけるスポーツボランティアの機運を失うことなく円滑な事業移行に努める。

4. 地域におけるスポーツ活動及び文化活動の振興並びに実施及び協働・支援

スクール運営

①体育遊びスクール

未就学児～小学校低学年

<令和7年度実績> 3教室 70名

<令和8年度計画> 2教室 50名

② 陸上スクール

小学高学年～中学生対象

<令和7年度実績> 3教室 140名

<令和8年度計画> 3教室 160名

③ ロウイングスクール

小学高学年～中学生対象

<令和7年度実績> 1教室 11名

<令和8年度計画> 1教室 15名

5. “スポーツ文化推進マッチングサービス”事業

今後の部活動の地域クラブ移行を踏まえて、スポーツ指導者、運営者人材を登録、研修の上、スポーツクラブなどへ紹介・派遣する事業に加え、アスリートをその活動を理解しサポートする企業に紹介する事業を推進する。

＜令和7年度実施実績＞

成約実績なし

＜令和8年度実施計画＞

アスリート人材紹介成約 2件

6. クラブ支援事業

財団・財団役員に蓄積されたノウハウを活用し、今後プロ化・上部リーグ加盟を目指すクラブを支援する事業を展開する。

＜令和7年度実績＞1団体（JAぎふ女子バレーボール）

＜令和8年度計画＞2団体（JAぎふ女子バレーボール、滋賀陸上競技協会）

7. アリーナ事業

候補地自治体と連携し、広報活動等を通じて県民・県内経済界等にその機運を高め、県内にエンターテインメント型アリーナの建設を目指す。

＜令和7年度実施実績＞

・アリーナ準備室の設立

・レイクスターズマガジンを活用した広報（連載「準備室だより」）

＜令和8年度実施計画＞

・候補地選定の進行

・支援企業の拡大

当事業により、県内のスポーツや音楽等エンターテインメントの普及・発展に寄与するとともに、財団の安定的収益基盤を作り出し、永続的に公益活動を行うことを目指す。